

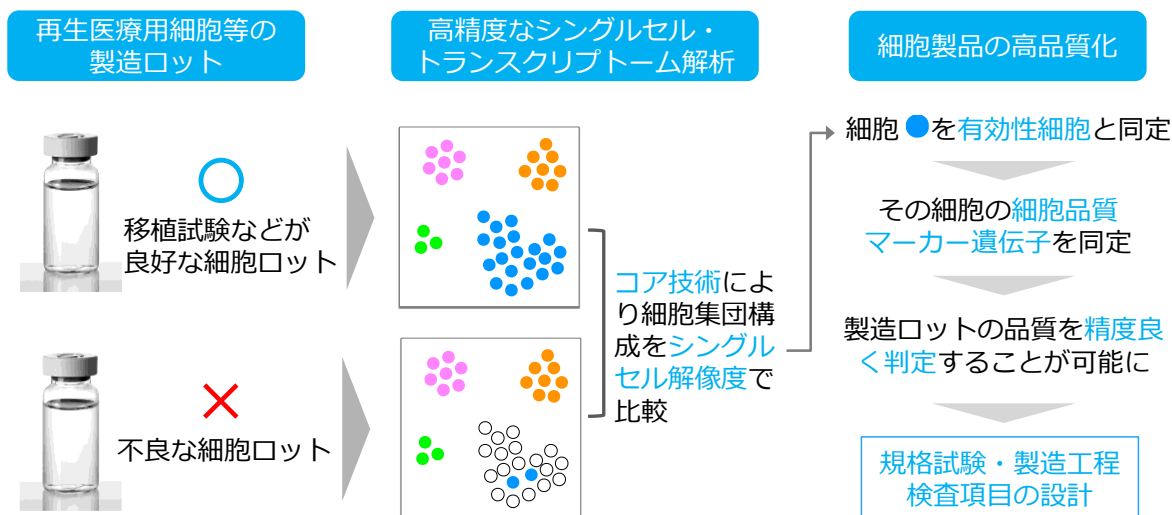
## 再生医療用細胞の課題

1. 製品に細胞を含むため製造工程での品質のばらつきが大きい、品質評価する方法が不足
  2. 細胞製品ごとの培地開発の難易度が高く、多くの細胞で最適な培養条件が未確立
  3. 細胞製造コストが高い
- 当社細胞計測・培養技術により課題を解決し、細胞製造を最適化する

### 1. 細胞製品の品質マーカーの同定

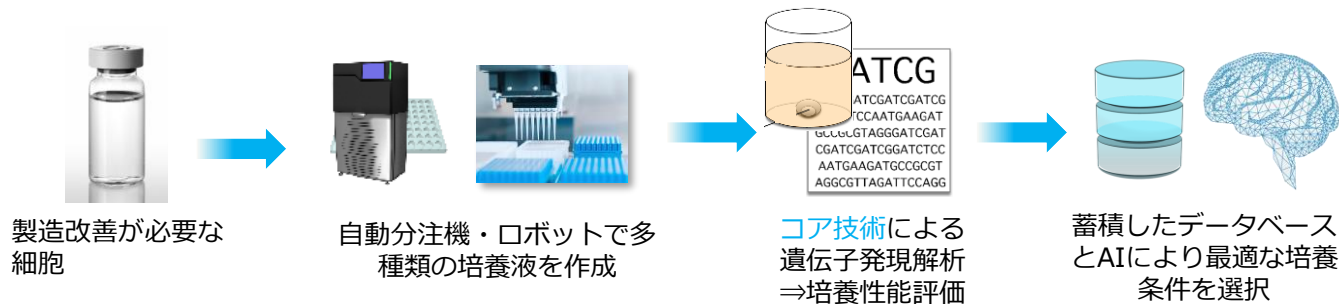
- ・ 世界最高精度と評価された当社シングルセル解析技術(\*)により細胞製品の複数ロットを解析
- ・ 良ロットと不良ロットを精度良く判定できる、有効性を担保する細胞品質マーカーを同定

\* Mereu, et al. Nature Biotechnology 2020



### 2. 細胞培養の最適化

- ・ 数千~数万種類の培養条件で培養された細胞を大規模トランスクリプトーム解析することで最適化された培養液を探索
- ・ 間葉系幹細胞を用いたデモンストレーションにより有用性を実証済



©2016 DBCLS TogoTV / CC-BY-4.0

### ビジネスモデル

- ・ 共同研究を通じて研究目的に応じた成果を創出（共同研究契約を締結）
- ・ 実験計画策定の段階から関与し、細胞・分子生物学実験、バイオインフォマティクス解析等をワンストップで実施
- ・ 費用等詳細については応相談

### 当社概要

- ・ AI表現型創薬及び再生医療の高品質化により難病克服を目指すバイオテックスタートアップ
- ・ 2018年にCEO團野（理研出身）とCTO福田（和光純薬工業出身）が共同創業。
- ・ 顧問として二階堂教授（理研・東京医科歯科大）、笹川准教授（東京医科歯科大）が参画

会社ウェブサイト

